講義科目名称:ファイナンス論

授業科目の区分等: 専門教育科目 会計・ビジネスコース

| 開講期間 | | 配当年 | 単位数 | 科目必選区分 | |
|-----------------|----------------------------|--|---|---|--|
| 半期 | | 1年 | 2 | 選択 | |
| 担当教員 | | | • | | |
| 小板橋 信二 | | | | | |
| G(現代ビジネス学科 | 4) | S(専門科目) | | FN(金融) | 101 (基礎・入門科目) |
| 授業のねらい (概 要) | 金融は経済で、の、金融の制である資金を制である資金を | 生会に大きな影響 ・金融は人体にお 幾能と役割につい ま、金融市場や会 金供給(企業等か | 響を与え、私たち らける血流ともたいて理解すること st融機関の役割な いら見れば資金調 | トなどのニュースに金融に関するの生活にも深く入り込んでいる。 とえられる。本授業では、金融仲 を目的とする。 ど金融に関する基本的な事項を確 達)について詳しく学ぶ。さらに 織り込んで考えていく。 | 出来事が出てこない日はない。 経済活動の潤滑油となっている 介機能が円滑に発揮されるため 認したうえで、銀行の主要な役 、最も身近な銀行である地域金 |
| 授業計画 第1回 | | ガイダンス 授業全体の概 履修上の注意 金融の概念 | 要と進め方の説明 事項 | 1 | |
| | 第2回 | 復習(時間) プロローグ お金の役割と 景気と銀行 | :配布資料及び請 | ≽講義概要を理解(120) 靖義ノートを見直し、授業のポイン | /トを整理(120) |
| | 第3回 | 復習 (時間) 金融とは① | :配布資料及び請 類と業態別の特徴 | ~ 3 2 を読む(120) 講義ノートを見直し、授業のポイン 数 | /トを整理(120) |
| | 第4回 | 復習 (時間) 金融とは② 銀行の機能、 | :配布資料及び請 銀行の3大業務 | ~ 5 8 を読む(120) 毒義ノートを見直し、授業のポイン 「とリレーションシップ・バンキン | |
| | 第5回 | | :配布資料及び請の銀行 | - 7 6 を読む (120) 毒義ノートを見直し、授業のポイン | /トを整理(120) |
| | 第6回 | 復習 (時間) ファイナンス 企業からみた | :配布資料及び請 とは① | . ~179を読む (120) 毒義ノートを見直し、授業のポイン | ノトを整理(120) |
| | 第7回 | 復習 (時間) ファイナンス 企業活動とフ 企業の資金需 | :配布資料及び請 とは② ァイナンス | √ジュメの該当箇所を読む(120) 毒義ノートを見直し、授業のポイン 賃金需要 | /トを整理 (120) |
| | 第8回 | 復習 (時間) ファイナンス 企業の資金調 | :配布資料及び請 とは③ | √ジュメの該当箇所を読む(120) 毒義ノートを見直し、授業のポイン またよる調達 | ノトを整理(120) |
| | 第9回 | | :配布資料及び請 とは④ 接金融 | - ジュメの該当箇所を読む(120) 講義ノートを見直し、授業のポイン | /トを整理(120) |
| | 第10回 | | :配布資料及び請 | /ジュメの該当箇所を読む(120) 構義ノートを見直し、授業のポイン | ノトを整理(120) |

| | | | デット・ファイナンス エクイティ・ファイナンス アッセット・ファイナンス | | |
|--|----------------|-------------------|---|--|--|
| (特別): 配布資料及び講義ノートを見直し、授業のポイントを整理 (120) 地域金融とは① | | 第11回 | 復習(時間):配布資料及び講義ノートを見直し、授業のポイントを整理(120) ファイナンスとは⑥ 金融商品とサブプライムローン問題 | | |
| (報習 (時間): 配布資料及び講義ノートを見直し、授業のポイントを整理 (120) 第13回 地域金融とは② 地域金融とは② 地域金融とは③ 地域金融とは③ (120) (復習 (時間): 事前配布したレジュメの該当箇所を読む (120) (復習 (時間): 配布資料及び講義ノートを見直し、授業のポイントを整理 (120) 第14回 地域金融とは③ フィゲューシャリー・デューティー 地域密融とは③ アルデューティー 地域を融とは③ 上配布資料及び講義ノートを見直し、授業のポイントを整理 (120) 第15回 地域金融とは④ 地域金融とは④ 地域金融とは④ 地域金融とは④ 地域金融の将来像(生き残る地域金融機関とは)地域金融の将来像(生き残る地域金融機関とは)地域金融の将取像(生き残る地域金融機関とは)地域金融の将取像(生き残る地域金融機関とは)地域金融の将取像(生き残る地域金融機関とは)地域金融の将取像(生き残るが言を必要が有金を対して身に (特間):配布資料及び講義ノートを見直し、授業のポイントを整理 (120) 接雲を通して身に (時間):配布資料及び講義ノートを見直し、授業のポイントを整理 (120) 接雲を通して身に (時間):配布資料及び講義ノートを見直し、授業のポイントを整理 (120) 接近の経過的研究を発いていたとを発信できる能力 (身に付くスキル) 学院付う姿勢、社会情勢の理解、問題発見力 (1金融機関の業態別特後と経済活動における金融の役割について理解できる。②企業が資金を必要とする理由は何か、又とのように資金を調達するかを説明できる。③地域金融機関に期待される役割・現状を理解し、将来像を考察できる。課題を課した場合には、ポイントや注意点について授業内で解説する。 ・定期試験 8 0 %、学修意欲 2 0 % 基準 (120) 著者名:日本経済新聞社[編] 出版社:日本経済新聞社 発行年:2016年 価格:860 円 6巻 3書・教材 | | 第12回 | 復習 (時間):配布資料及び講義ノートを見直し、授業のポイントを整理 (120) 地域金融とは① バブル崩壊後の地域金融 | | |
| 第14回 地域金融とは3 地域金融とは3 地域金融とは3 地域金融とは3 地域金融のドンネスモデル 予習 (時間): 事前配布したレジュメの該当箇所を読む (120) (復習 (時間): 虚布資料及び講義ノートを見直し、授業のポイントを整理 (120) 地域金融の将来像 (生き残る地域金融機関とは) 地域金融の解理と競争のあり方 予習 (時間): 配布資料及び講義ノートを見直し、授業のポイントを整理 (120) 投業を通して身に 投業の部分 予習 (時間): 配布資料及び講義ノートを見直し、授業のポイントを整理 (120) 投業を通して身に 投業の部分 投業のポイントを整理 (120) 投業を通して身に 投業の部分を設定した。 | | 第13回 | 復習(時間):配布資料及び講義ノートを見直し、授業のポイントを整理(120) 地域金融とは② 地域金融機関を取り巻く環境 | | |
| 復習 (時間):配布資料及び講義ノートを見直し、授業のポイントを整理 (120) 地域金融とは④ 地域金融の将来像(生き残る地域金融機関とは) 地域金融の飛起と競争のあり方 予習 (時間):事前配布したレジュメの該当箇所を読む (120) 復習 (時間):配布資料及び講義ノートを見直し、授業のポイントを整理 (120) 授業を通して身に 付けることができる | | 第14回 | 復習(時間):配布資料及び講義ノートを見直し、授業のポイントを整理(120) 地域金融とは③ フィデューシャリー・デューティー | | |
| 復習(時間):配布資料及び講義ノートを見直し、授業のポイントを整理(120) 授業を通して身に | | 第15回 | 復習(時間):配布資料及び講義ノートを見直し、授業のポイントを整理(120) 地域金融とは④ 地域金融の将来像(生き残る地域金融機関とは) | | |
| 付けることができる能力 | | | 予習(時間): 事前配布したレジュメの該当箇所を読む(120) 復習(時間): 配布資料及び講義ノートを見直し、授業のポイントを整理(120) | | |
| ②企業が資金を必要とする理由は何か、又どのように資金を調達するかを説明できる。 ③地域金融機関に期待される役割・現状を理解し、将来像を考察できる。 課題や小テスト等のフィードバックの方法 履修上の注意 ・授業に必要な資料は都度配布する。 成績評価の方法・ 基準 教科書 「金融入門〈第2版〉」 著者名:日本経済新聞社[編] 出版社:日本経済新聞社 発行年:2016年 価格:860円 | 付けることができ | 基礎的知識を | 身に付け学んだことを発信できる能力 キル】 | | |
| 課題や小テスト等のフィードバックの方法 課題を課した場合には、ポイントや注意点について授業内で解説する。 履修上の注意 ・授業に必要な資料は都度配布する。 成績評価の方法・基準 ・定期試験80%、学修意欲20% 教科書 「金融入門〈第2版〉」 著者名:日本経済新聞社[編] 出版社:日本経済新聞社 発行年:2016年 価格:860円 参考書・教材 講義科目 | 到達目標 | ②企業が資金 | を必要とする理由は何か、又どのように資金を調達するかを説明できる。 | | |
| 履修上の注意 ・授業に必要な資料は都度配布する。 成績評価の方法・基準 ・定期試験80%、学修意欲20% 教科書 「金融入門〈第2版〉」 著者名:日本経済新聞社[編] 出版社:日本経済新聞社 発行年:2016年 価格:860円円 参考書・教材 講義科目 | のフィードバック | 課題を課した | 場合には、ポイントや注意点について授業内で解説する。 | | |
| 基準 教科書 「金融入門〈第2版〉」 著者名:日本経済新聞社[編] 出版社:日本経済新聞社 発行年:2016年 価格:860円 参考書・教材 備考 講義科目 | | ・授業に必要な資料は都度配布する。 | | | |
| 教科書 参考書・教材 備考 | 成績評価の方法・ 基準 | ・定期試験80%、学修意欲20% | | | |
| 参考書・教材描義科目 | | | 序 2 版〉」 著者名:日本経済新聞社[編] 出版社:日本経済新聞社 発行年:2016年 価格:860 | | |
| | 参考書・教材 | | | | |
| 教員との連絡方法 メール (アドレスは授業内で周知) | 備考 | 講義科目 | | | |
| | 教員との連絡方法 | メール(アドレスは授業内で周知) | | | |